

水源地ボランティア清掃



収集したゴミを
バックに。
予想以上の量に
一同驚きの顔で
の1枚。

今回で高松市上下水道工事業協同組合青年部会としては3回目の水源地ボランティア清掃の実施となりました。例年であれば、高松市水道局と合同でボランティア清掃活動を実施していましたが、今年は双方の予定が合わなかった為、私達単独での活動になりました。

単独で活動するといっても「何処をするのか」、「どれくらいの規模でするのか」といった幾つかの問題点を、月1回行っている役員会で討議し、また水道局の方にも相談に乗っていただきました。

今年の実施日は11月18日、「この時期なら農作業で水を使う量も少ないであろうから、貯水量の少ないため池などを清掃場所にえらんでみては？」との意見を参考にいろいろと調査して

道路沿いでのごみ拾い。

手にした袋がみるみるうちに一杯に。



みると、その殆どが地域の水利組合や自治会が管理しており、承諾を得るのに時間がかかるという弊害がでてきました。そういったこともあり、最終的な清掃場所として浄水場に繋がる河川（香東川）に決定しました。

川沿いの道はしばしば通ることもありましたが、運転席からの眺めではとてもゴミがあるなんて考えにも及びませんでした。それが頭の片隅にあったので、今年は例年の貯水池ほどのゴミは出ない

高松市上下水道工事業協同組合青年部会

担当役員 三島季夫

実施日 平成18年11月18日(土)

参加者 総勢 32名

(内訳: 組合員 15名 高松市水道局員 2名 協会員 15名)

河川流域での活動。

目を覆うゴミの量に唖然としながらの収集となりました。



だろうと思っていました。ところが、いざゴミ袋を手に歩いてみると、どこを見てもゴミだらけ……。出るは出るは、空き缶やペットボトル、弁当の箱やその他にも明らかに現場のゴミ(鉄骨や丸太)のようなものまである始末。あっという間にゴミの山に。当初の予定では、「2tダンプに1車あるかないか」と思っていたのですが、目の前に積み上げられたゴミをみると、4tダンプで運びきれんかどうか……。

今回は例年より参加人数が少なかった(32名)ため、清掃を行った範囲としては狭かったと思いますが、参加者自身が環境美化に対する姿勢が養えたと思われます。

水に携わる私たち。今回体験したことを、自分の身近な人だけでなくいろいろな人に指導していき、より多くの方に「水の大切さ」について理解して頂けるようにがんばっていきたいと思います。

そして何年後には『あの時は苦労したけど、綺麗な川になったな?』と思い出話に出来ればと思います。

ゴミ拾いの成果が出たのか、一羽の鳥が…。

